

# Q & A

---

Q 勤務時間はどうなっていますか。

A 原則、月曜日から金曜日の8時30分から17時15分（昼休憩12時～13時）の7時間45分勤務となっています。業務によっては交代制勤務となることもあります。

Q 休暇は自由に取得できますか。

A 年次休暇が年20日（1年目は15日）与えられ、自由に使用することができます。そのほか、特別休暇・介護休暇・病気休暇などの各種休暇制度が整っています。

Q 育児休業の制度はありますか。

A 男女を問わず、次のような制度を活用することができます。

子が3歳に達するまでの間・・・育児休業を取得することができます。

子が小学校に入るまでの間・・・勤務時間を短縮する育児短時間勤務をすることができます。

Q 警察＝男性社会のイメージがありますが、女性でも働きやすい職場ですか。

A 男性職員に比べると女性職員の割合は多いとは言えませんが、女性職員の比率は年々上昇しています。

結婚・出産を経て、家事と仕事を両立している先輩職員が多数いますので、公私を問わず、さまざまな相談ができることでしょう。また、警察庁全体でワークライフバランスの推進に取り組んでおり、時代に合った働きやすい職場環境となるよう努めていますので、女性でも安心して働くことができる職場です。

Q 初任給はどれくらいもらえますか。

A 基本給は、国家公務員採用一般職（大卒程度）試験及び選考採用（第1級陸上無線技術士資格保有者）ともに地域手当を含め215,040円が基本となります。ただし、採用までの経歴等によって異なることがあります。

基本給以外にも、通勤手当、扶養手当等の各種手当が支給されます。

Q ボーナスはありますか。

A 6月と12月の年2回支給されます。

Q 宿舎はありますか。

A 自宅等からの通勤が困難な職員には、公務員宿舎（独身用、家族用）が用意されています。また、賃貸のアパートやマンションに入居している場合、支給要件に応じて住居手当（最大27,000円）が支給されます。

Q 採用後、すぐに現場で働く自信がないのですが大丈夫ですか。

A 採用後、以下のような研修が用意されており、各種研修を段階的に修了することで現場に必要な知識・技術等を習得できます。また、職場でも初任研修において警察職員として必要となる基本的知識及び技能についての実務研修を1年かけて実施しますので安心です。

4月上旬から：警視庁警察学校（約1ヶ月）

警察職員としての基礎教養

5月下旬から：警察大学校附属情報通信学校（事務官：約1.5ヶ月 技官：約3ヶ月）

警察職員としての基礎教養及び専門知識の習得

3月上旬から：警察大学校附属情報通信学校（技官：約2週間）

各種教養の補修課程

※ 時期は変更となる場合があります

Q 警察官のような強靱な体力が必要となるのですか。

A 警察庁事務官及び技官は知識・技術等の面から警察活動を支えるため、警察官のような体力を求められることはありません。

Q 勤務地はどこですか。

A 1年目は、警視庁本部（東京都千代田区霞が関2-1-1）で通信庶務課に配属となります。

2年目以降は、各所属に配属され多摩通信支部（東京都立川市緑町3280）で勤務することもあります。

また、本人の努力・希望次第では警察庁での勤務のほか、他の管区警察局等での勤務の道も用意されています。